

| | | | | | | | |
|---------|---------|----|----|------|--------------|-----|---|
| 学年 | 高3 | 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽2 | 単位数 | 2 |
| 教科書名 | 高校生の音楽2 | | | 副教材名 | Music Note | | |
| クラス・コース | スポーツ・芸能 | | | 担当者名 | 山本 堅太郎、山本みずき | | |

I. 目標

- ・芸術の幅広い活動を通して、多様な音楽を表現することにより感性を高め、芸術文化についての理解を深めることにより豊かな情操を養う。

II. 授業のねらい

- ・個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし音楽文化についての理解を深める。
- ・創作を通して自らのイメージにあった旋律を作り音楽表現の創意工夫を目指す。
- ・演奏効果や表現方法を自己で考え、音楽を奏でる楽しさを知る。
- ・生涯を通じて最後の音楽集団授業であるため、アンサンブルを通じて協調する力を身に付ける。

III. 授業の進め方

- ・歌唱、鑑賞、創作、音楽理論の学習をバランスよく行い、個々の表現力を生かした演奏発表をする。(発声練習コンコーネ 50 番、他教材使用)。
- ・正しい発声法を身に付けた上、教科書・プリントの曲を歌唱する。
- ・鑑賞については、楽曲に関する作品背景等に興味を持ち多様な音楽に対する理解を深める。
- ・多くの諸外国語や母国語である日本語の歌唱曲をより多く習得し、発音・表現などの分野においても理解を深める。

IV. 学習上の留意点

- ・学習内容にかかわらず、年間を通して積極的な授業への取り組みを重視する。
- ・音楽の授業は豊かな表現力の向上を目指すと同時に、他を知ることの姿勢を学ぶ場でもある。常に真摯な姿勢で学習に取り組む。

V. 定期試験

- ・定期試験期間では行わず、歌唱テストを授業時間中に実施する。また、実技試験を行えない状況の際には、授業時間中にペーパー試験を課す場合もある。

VI. 評価の方法

- ・芸術音楽を愛好するとともに、それぞれの個性を生かして、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを享受しているか実技にて歌唱テストを行い、積極的な態度音楽的であり創造的な表現力を発揮できたか。
- ・鑑賞ではノートの記載を適切に行なっているかということも評価の対象とする。
- ・授業態度（忘れ物を含む）平常点として、忘れ物、授業態度の悪い者（遅刻・私語・授業に不必要な持参物等）は減点する。

Ⅶ. 授業計画

| 学期 | 月 | 単元・学習項目 | 評価方法 | 到達目標 |
|-----|----|---|---|---|
| 一学期 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 発声練習、コンコーネ 50 番使用 歌唱「早春賦」 | <ul style="list-style-type: none"> 歌唱実技テストの主な評価基準 音程が正確にとれているか。 歌詞を正確に歌えているか（外国語の場合、発音が正確かどうか）。 曲想にあった歌唱方法をしているか。 積極的にその楽曲に取り組み、授業に参加しているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 関心、意欲、態度をもって「音楽」の授業に取り組んでいる。 音楽的な感受や表現の工夫ができる。 外国語（ドイツ語）の正確な発音、歌詞の内容を理解し歌える。 鑑賞することにより、多様な音楽に対する理解を深める。 リズムに親しんで、曲想を感じ取る。 |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞「ノートルダムの鐘」、「交響詩、禿山の一夜」(DVD) 発声練習、コンコーネ 50 番使用 歌唱テスト「早春賦」 | | |
| | 6 | <ul style="list-style-type: none"> 音楽諸要素のはたらき 歌唱「ブラームス 子守唄」 鑑賞「セッション」(DVD) リズムパーカッション | | |
| | 7 | <ul style="list-style-type: none"> 「クラッピングカルテット①」 歌唱テスト「ブラームスの子守唄」 ドイツ歌曲ドイツ語について学ぶ | | |
| 二学期 | 9 | <ul style="list-style-type: none"> 発声練習、コンコーネ 50 番使用 歌唱「Sehnsucht nacht dem flunge」 | <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞の記録についての主な評価基準 Music Note に鑑賞の記録を記載し、提出後に評価。適切に物語や楽曲を鑑賞できているか。 楽曲形式などに関心を持ち鑑賞しているか。 楽曲、作品に関する時代背景や歴史的、民族的、社会的意味について関心をもつことができているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 関心、意欲、態度をもって「音楽」の授業に取り組んでいる。 音楽的な感受や表現の工夫ができる。 外国語（ドイツ語・イタリア語）の正確な発音、歌詞の内容を理解し歌える。 鑑賞することにより、多様な音楽に対する理解を深める。 多くの物語や楽曲を深く理解し、心の情操を育むことを目標とする。 |
| | 10 | <ul style="list-style-type: none"> 鑑賞「オーケストラ」、「プラス！」(DVD) 歌唱テスト 歌唱「Lascia ch'io pianga」 | | |
| | 11 | <ul style="list-style-type: none"> その他イタリア歌曲について イタリア語について学ぶ 世界諸々の音楽 | | |
| | 12 | <ul style="list-style-type: none"> 歌唱テスト「Lascia ch'io pianga」、他イタリア古典歌曲集から選曲 鑑賞「メサイア」、「アンコール！」(DVD) 日本語歌唱「卒業写真」、「なごり雪」など歌謡曲を中心に独唱 卒業歌唱試験「卒業写真」、「なごり雪」 | | |
| 三学期 | | | | |

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。